北海道くじら講座 第2回

知床半島沿岸のイルカ・クジラ

2023年
11/3（金，祝）
13:30-16:30
羅臼町コミュニティーセンター 大ホール 羅臼町船見町2-16

入場無料

知床で打ち上がるイルカやクジラ。その調査研究からわかってきたことについて，研究者が様々なテーマでお話しします。

山田 格
国立科学博物館

茂越 敏弘
日本鯨類研究所

松石 隆
北海道大学

小林 万里
東京農業大学

松田 純佳
北海道大学

主 催 ：特定非営利活動法人ストランディングネットワーク北海道（SNH）
後 援 ：北海道大学大学院水産科学研究院，東京農業大学生物産業学部，国立科学博物館，日本鯨類研究所，羅臼町，知床羅臼町観光協会，羅臼漁業協同組合，知床羅臼観光船協議会，公益財団法人知床財団，日本セトロジー研究会

本講座は，独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施します。

地球環境基金

ストランディングネットワーク北海道とは

松石　隆　特定非営利活動法人ストランディングネットワーク北海道理事長。北海道大学水産科学研究院教授。博士（農学）。北海道大学鯨類研究会顧問。東京生まれ。東京大学教養学部卒。大学院は東京大学海洋研究所に配属。1993年北海道大に赴任。専門は水産資源学。学生時代には鯨類目視調査船に長期乗船。フルート演奏はプロ並み。著書に「水産資源学」，「出動！イルカ・クジラ110番」（いずれも海文堂出版）など。

知床周辺に漂着した鯨類の食性

松田　純佳　特定非営利活動法人ストランディングネットワーク北海道副理事長。北海道大学水産科学研究院学術研究員。1988年京都府生まれ。2017年9月に北海道大学大学院博士課程を修了。博士（水産科学）。第8回日本学術振興会育志賞を受賞。東京大学での特任研究員を経て，2018年からは北海道大学においてストランディングした鯨類の調査研究を続ける。著書に「クジラのおなかに入ったら」（ナツメ社）。

寄鯨調査事業について

茂越　敏弘　博士（農学）。一般財団法人日本鯨類研究所 資源生物部門 研究員。岩手大学大学院にて博士号取得後，現職。専門分野は，繁殖学。数次にわたり鯨類捕獲調査に調査員として参加し，新南極海鯨類科学調査，第2期北西太平洋鯨類捕獲調査の調査団長を歴任。現在，寄鯨調査事業担当者として，日本全国で発生するヒゲクジラ類，マッコウクジラ，ツチクジラの漂着現場に出向き，調査，標本採集を行っている。

オホーツク海の地形と海生哺乳類の分布

小林　万里　獣医師，博士（獣医学）。東京農業大学生物産業学部海洋水産学科教授。北海道大学獣医学部出身。博士はウミガメ（タイマイ）の研究で取得，その後は，アザラシ（ゴマフアザラシやゼニガタアザラシ等）の研究に従事，その結果を管理にも生かしてきた。さらに、最近はオホーツク海の生態系への興味からクジラ（ナガスクジラやクロツチクジラ等）やイルカ（ネズミイルカ、イシイルカ、カマイルカ）の調査も開始。「日本の哺乳類③」や「鰭脚類」などを分担執筆。

クロツチクジラとの遭遇

山田　格　博士（医学）。国立科学博物館名誉研究員（動物研究部）。東京大学大学院（人類学）修了。新潟大学大学院（医学）医学博士取得。スウェーデン国立自然史博物館（客員研究員）を経て，1993～2015年国立科学博物館動物研究部，主任研究官，グループ長。専門分野は，比較解剖学，海棲哺乳類学。著書「海棲哺乳類学大全」など。イルカ･クジラのストランディング個体の解剖学的所見から，イルカ･クジラについて理解を広げ，深めるべく，研究を継続中。

ストランディングネットワーク北海道とは…？

くじら１１０

Stranding Network Hokkaido
ストランディングネットワーク北海道
© Stranding Network Hokkaido × Whale Artist Arata Hitom

北海道内におけるイルカ・クジラの座礁・漂着・混獲(ストランディング)情報と標本を広く収集して一般市民・学術研究者に公表・配分することにより，海洋と鯨類の研究に寄与するとともに，その理解を深めることを目的としたNPO法人です。

北海道いるか・くじら110番: 090-1380-2336